

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ13 事件・事故のない安心してらせる地域社会づくり
-----------	-----------------------------

二次評価意見		県の対応
総合分析の妥当性等		
1	総合分析は概ね妥当である。	
2	刑法犯認知件数が漸減している主たる要因について、取組みの具体例を記載してほしい。	白書に、具体例を記載しました。
新たな政策課題		
3	独居老人世帯増に伴う犯罪被害の増加が危惧されることから、警察、地域社会と連携した地域防犯対策を推進する必要がある。	事業実施の中で対応を検討します。
4	刑法犯罪が減少する中、薬物、特に大麻犯罪が突出しており、薬物の乱用を防止するため、広報・啓発、情報提供、取締りの強化、更正プログラムなどを推進する必要がある。	事業実施の中で対応を検討します。（ただし、更正プログラムについては、国の所管）
目標設定の課題		
5	薬物犯罪全体と比較して、大麻犯罪の件数が伸びている。目標に薬物犯罪、中でも大麻犯罪の検挙状況を設定してはどうか。	点検の中で対応を検討します。

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ14 大規模地震に備えた対応力の強化
-----------	----------------------

二次評価意見		県の対応
総合分析の妥当性等		
1	総合分析は概ね妥当である。	
2	構成事業「災害時情報収集・伝達体制の充実」の取組内容である「新たな防災行政通信網の整備」及び「災害情報管理システムの導入」について、取組完了後の具体的な成果を説明すべき。	白書に防災行政通信網、災害情報管理システム導入後の成果についての記述を加えました。
新たな政策課題		
3	都市の高齢化、近隣関係の希薄化が進展する中、ハザードマップや、災害時の住民の避難場所、避難経路などの周知について、市町村と連携しながらさらに進めていく必要がある。	事業実施の中で対応を検討します。
目標設定の課題		
4	神奈川DMAT(災害派遣医療チーム)は現在、10病院に10チーム(50人)が指定されているが、早急に強化する必要があるため、目標に、神奈川DMATの指定状況を設定してはどうか。	点検の中で対応を検討します。

神奈川県総合計画審議会 戦略プロジェクト二次評価調書

戦略プロジェクト名	PJ15 安全で安心な食生活・消費生活の確保
-----------	------------------------

	二次評価意見	県の対応
<b>総合分析の妥当性等</b>		
1	<u>総合分析は概ね妥当である。</u>	
2	県民の食の安全に対する不安感を払拭するために、衛生検査の項目数を増やしていくことは理解できるが、2009年度実績の25,916項目は、平均的消费者が口にする食品のうち、どの程度カバーできているのかが分からない。	点検の中で対応を検討します。
<b>新たな政策課題</b>		
3	<u>食の安全・安心については、消費者は弱者であり、供給側（生産者、事業者、流通）の自主的かつ責任ある取組みに委ねるケースが多い。有害成分、偽装、トレーサビリティなど供給側が管理基準を確実にクリアするよう行政サイドの指導に期待するとともに、優良な事業者に対してはインセンティブを提供し、その効果を敷衍することにより供給側の自主的かつ責任ある取組みの一層の促進を図る必要がある。</u>	事業実施の中で対応を検討します。
4	消費者が食の安全・安心を正しく理解するため、行政の仲介で生産者とのミニ交流会を実施し、食の正しい理解を広めることが重要である。食の安全を極めていくと、過剰品質と紙一重になり、廃棄を伴うムダにつながる。「許容範囲」を知れば環境と安全とのバランスが取れると思う。	事業実施の中で対応を検討します。
5	食品安全衛生の検査を実施しているのなら、HACCPやGAPなどを参考にしつつ、エコマークのような神奈川独自の認証制度を作ってはどうか。それがPJ6と結びつき、神奈川県産品のブランド力を高めるはずである。	事業実施の中で対応を検討します。
<b>目標設定の課題</b>		